

第6次府中市男女共同参画計画における位置付け	事業名	事業目的	事業内容	対象者	成果について	参加予定人数	講師 資格等	日時	委託金	経費			備考	団体
										項目	数量	単価:円		
Ⅲ 人権が尊重される社会の形成 3 生涯を通じた健康支援	6 カラダも心もスッキリ元気教室 ～心が動く介護予防教室～ 『コロナ禍に深刻化するフレイル&コミュニケーション問題に対処して』	高齢化の問題は個人に留まらず地域の問題。体だけでなく心の問題でもある。脳もカラダ、精神面でも元気になる、心が動く講座を開催する事で、一人ひとりの元気を引き出す。そして、若い人から高齢者までをつなげ、地域の活性化をはかる。	脳の活性化シナプソロジーや音楽を使った楽しいワークと、包括支援センター介護予防教室で「痛いのを忘れた」と言われた伝説の講座内容。脳活性に重要な、発声を含む簡単な運動ワークと介護予防知識を入れ込んだ誰でも気軽に集まりつながることのできる講座	成人男女(センターまで自力で移動できる方などなたでも)	コロナ禍、フレイルやコミュニケーションの問題が深刻化している中、老弱男女様々な方が笑顔とともにつながり、介護予防の知恵を身につける講座をする事で、まずは孤立からの脱却で行ってみたい→会場に行くために運動する→つながる→精神的快→カラダも心もスッキリ→又行きたい→病院ではなく講座に行きたい！そんなつながり&循環がとても重要になっている。	各回 30人	榎本 久美子 ・リミック&シナプソロジー教育トレーナー ・NPO法人脳響トーンシステム副代表理事	5月17日・31日(火) 10月18日・25日(火) 10:00～12:00 いずれか2日	30,000	講師謝礼 @5,000円×2時間×2日 アシスタント @1,800円×2時間×2日 印刷製本費 その他 合計	20,000 7,200 200 800 1,800 30,000	2日開催	F	
Ⅰ あらゆる分野における男女共同参画 4 市民協働における男女共同参画 Ⅱ ワーク・ライフ・バランスの推進 2 子育て支援	7 実践講座 絵本と語り ～昔話や絵本の読み聞かせで地域活動を～	昔話や絵本の読み聞かせは、語り手も聞き手も共に、脳を活性化し、精神状態を穏やかにする(科学的実証済み)。子ども、子育て中のパパママ、祖父母が気楽に参加できる『おはなし会』を、地元(自宅、友人宅、公会堂等)で開催し、地域で楽しめるよう、読み聞かせや語りのポイント、「おはなし会」作りのノウハウをお伝えする。	・絵本について:歴史、絵本読みのノウハウ(年齢別、テーマ・季節など) ・語りについて:歴史、語りのノウハウ(子ども向け・大人向けなど) ・地域で行うお話し会について:参加者がグループに分かれ実践。 *各回ワークショップを交えて行う。	学生、成人、シニア(3回シリーズ)	・絵本読みや語りのノウハウを習得し、地域で仲間と読書会やお話を開催して生き生き活動している。お話し会することで元気を取り戻し、今では地域活動が生きがいとなっているとのシニアからの声も。 ・お話し会でのママの姿を見て子どもが本好きになり、「体験型お話し会」(本会が主催する親子のお話し会)に親子で入会して活動している。 ・お話し会のメンバーに男性が入っていると、自作の小断や紙芝居は大人気。 ・講座修了後も参加者は同じ楽しみを共有し、グループ化している。	各回 15人	須山 優子 NPO法人語り手たちの会理事 おはなし夢くらぶ主宰	12月14日(水) 1月18日(水) 2月15日(水) 10:00～12:00	30,000	講師謝礼 @4,000円×2時間×3日 アシスタント @2,000円×3日×2名 印刷製本費 郵便料 その他 合計	12,000 12,000 200 4,000 0 1,800 30,000		G	
Ⅱ ワーク・ライフ・バランスの推進 2 子育て支援	8 一緒に話そう・仲間を作ろうinふちゅうの子育て	コロナ禍で妊娠中から、同じ境遇にある人との関りが制限されている中、子育て中も更に不安が出現し、産後鬱傾向に陥りやすい。この集まりから、府中市内で育児を一緒にする仲間と知り合い、少しでも不安を分かち合えるような仲間を作る。	① 自己紹介・仲間づくり:沢山の育児中の母親と会話をすること、共有・解決への導き ② 産後の生活のリフレッシュ ③ パートナーと共同の育児を考える	月齢2～6か月の子供とその母親(子供:第一子のみ)	産後の母親同士が集まり、仲間をつくることにより、安心した育児を送るためのサポートが作られる。また、子育てパートナーとより良く産後の生活を送るヒントを情報交換・知ること、お互いいたわりあって生活でき、育児の楽しさが生まれ、仕事と生活の両立支援推進につながる。	15組	江口希美 他 助産師	6月10日(金) 9:45～11:45	30,000	講師謝礼 @9,000円×1日×3名 印刷製本費 郵便料 その他 合計	27,000 200 2,800 0 30,000		H	
Ⅱ ワーク・ライフ・バランスの推進 2 子育て支援	9 パパも一緒にコラージュ遊び	男女共同参画は、まず家庭の事や子育てを平等に関わることから始まる。仕事中心になりがちなパパと子どもの心の距離を縮め、豊かな父子の関係を醸成する。本事業は、高い芸術的要素を含みながらも、手軽に体験できる「エリックカールの色紙づくり」と「作品づくり」を通して、父子が子どもの能力を改めて気づき親子の関係が近くなることで、子育てに参加しやすいきっかけづくりとする。母親もその様子を見ることで、安心して子育てを任せられる心境となる。	■テーマ■ 子どもとパパが遊ぶことで、時間の中で、「楽しい」を共有。パパがより子育てに参加しやすくなる。子どもであっても素晴らしい作品を生み出す「コラージュ」遊びをすることで、パパが子どもの力を再発見し、心の距離を縮める。 ■実施内容■ ①エリックカールの色紙づくり。様々な道具を使って、トレーシングペーパーにアクリル絵具の色を思い思いに乗せていきます。(大きなビニールシートの上で自由に色を塗って色紙を作る)パパによる子どものいいところ探しを発表。 ②作品づくり 自由に作品づくり パパによる、子どもの作品への感想と子ども自慢の発表会	0歳から大人	●どんなに小さな色紙の破片でも、捨てるどころが「ゼロ」であると気づくことは、世の中に不要なものがないことを置き換えて体験することにつながる。また、失敗したと思っても、作り続けることでどんどんイメージが膨らみ、作品として息を吹き返し、当初よりも味のある素晴らしい作品へと成長していくので、「失敗がない体験」をすることができ、自己肯定感を育てることにつながる。 ●アートの前では年齢に関わらずに平等であることを感じる。 ●「違う」ことが楽しい、価値があると感じる(受け入れ合う、認め合う)。 ●想像力を刺激されることで、さらに積極的な生き方に向かう。 ●父親が子どもの力を認識し直し、関係を改善もしくはさらに良好にする。上記のことにより、家庭におけるパパの育児参加を加速させる。	各回 30人	大迫 典子 子ども文化地域コーディネーター	7月10日(日) 7月17日(日) 10:00～12:00	30,000	講師謝礼 印刷製本費 郵便料 その他 合計	0 200 3,000 0 64,940 68,140	2日開催 収入参加費 1家族@1,000円×15組(通し参加費:1回でも同額)	I	
Ⅰ あらゆる分野における男女共同参画 2 労働の場における男女共同参画	9 男女平等の視点から見る「女性の労働」～セクハラ、マタハラ、雇用差別を考える～	セクハラや妊娠出産に関するマタハラは女性の雇用継続を困難にします。短期雇用、非正規雇用は女性の貧困にもつながります。ハラスメントや男女間の労働差別、構造的に格差を生み出している社会制度などの問題解決を目指し、女性が自立して働くための権利を学びます。	谷村明子弁護士の講演会 フューチャールの会場とオンラインによる講演会を併用して行ないます。オンラインはzoomを使用する予定です。(会場参加人数は、感染症拡大の状況により変更があります)	誰でも	セクハラ、マタハラ、非正規雇用という女性の就労を困難にする実態とその時にどう行動するかを学ぶことは、女性の働く権利を守り、雇用の継続につながります。女性も男性も対等で、平等な立場で働くことができる男女共同参画社会の実現を目指します。	会場 10人 オンライン (Zoom) 30人	谷村 明子 弁護士	10月1日(土) 13:00～15:00	30,000	講師謝礼 @13,000円×2時間 印刷製本費 郵便料 その他 合計	26,000 200 4,000 2,520 33,000		J	
合計金額 293,130										予算額 300,000	残予定 6,870			